

平成27年度
文化芸術事業企画(案)

平成27年度企画書(芸術祭)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費	
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業		
目的	<p>・古賀市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。</p> <p>・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。</p>					
対象	市民		日時 (予定)	5月16日(金)～18日(日)		
内容	予定月	開催事業	内容			
	1月31日(金)	芸術祭 (舞台芸能)	出演者申込案内発送			
	3月20日(木)		出演者申込締切り			
	25日(火)		プログラム校正開始／順次ゲラをFAX依頼			
	4月11日(金)		プログラム校正作業終了			
	23日(水)		「会員定期総会」プログラム及びポスター、入場整理券配布			
	5月9日(金)		出演代表者会議(研修棟にて19:00開始予定)			
	5月14日(水)		個別リハーサル			
	15日(木)		舞台仕込み			
	16日(金)		通しリハーサル			
	17日(土)		本番			
	18日(日)					
	1月31日(金)		芸術祭 (芸術)	出品・出展申込案内発送		
	3月20日(木)			出品・出展申込締切り		
	25日(火)	プログラム校正開始／順次ゲラをFAX依頼				
	4月11日(金)	プログラム校正作業終了				
	23日(水)	「会員定期総会」プログラム及びポスター、入場整理券配布				
	15日(木)	作品搬入				
	16日(金)	作品展示				
	17日(土)	作品展示				
18日(日)	作品展示					
20日(火)	作品搬出					
展望	<p>プロや指導者のグレードの高い舞台演技を、3日間も無料で鑑賞できるとともに、郷土芸能や昔から引き継がれてきた文化に触れることが出来る貴重な機会である。まだまだPR面では改善の余地が見られる。芸能、芸術に興味関心をもつ市民の増加、ひいては、潤いのある文化都市を目指す。また、本事業が若い世代との交流の場となり、次世代への引継ぎにつながることを目指す。</p>					
H26年度予算額			H27年度予算額			
700,000円			700,000円			
予算根拠						
節	細節	細々節	予算額	根拠		
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	700,000	文化芸術振興事業委託事業(芸術祭) 700,000円		
合計			700,000			
備考						

平成27年度企画書(文化祭)案

勸	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費	
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業		
目的	<p>・古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。</p> <p>・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。</p>					
対象	市民	日時 (予定)	10月11日(土)～13日(月祝)			
内容	予定月	開催事業	内容			
	7月1日(火)～	舞台芸能	出演者申込書一式配布開始			
	8月7日(木)		出演者申込受付締切り			
	8月19日(火)～		プログラム入力開始			
	8月26日(火)		プログラム校正開始／出来上がり次第FAX依頼			
	9月3日(水)		最終校了分を印刷会社に回す			
	9月17日(水)		出演者代表者会議(詳細後日案内)プログラム配布			
	10月5日(日)		個別リハーサル			
	8日(水)					
	9日(木)					
	10日(金)					
	11日(土)		仕込み、舞台準備			
	12日(日)		本番(第33回文化祭)			
	13日(月祝)					
	7月1日(火)～	芸術作品	出品・出展申込書一式配布開始			
	8月7日(木)		出品申込受付締切り			
	8月19日(火)～		プログラム入力開始			
	8月26日(火)		プログラム校正開始／出来上がり次第FAX依頼			
	9月3日(水)		最終校了分を印刷会社に回す			
	10日(金)		搬入			
	11日(土)		展示			
	12日(日)					
	13日(月祝)					
	14日(火)		搬出			
	展望	<p>大ホールを使った大規模な舞台発表の機会はなかなかない。幅広い参加を促し、市民全体で作り上げる文化祭を目指す。また、多くの市民が参加・鑑賞・体験することで、より身近に文化芸術を感じてもらい、市民全体に文化芸術振興の意識付けを拡げていく。</p>				
	H26年度予算額			H27年度予算額		
	800,000円			800,000円		
予算根拠						
節	細節	細々節	予算額	根拠		
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	800,000	文化芸術振興事業委託事業(文化祭) 800,000円		
合計			800,000			
備考						

平成27年度企画書(こども美術展)案

勸	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会と、子どもたちの作品にふれる機会を提供する。 ・子どもの文化芸術に対する感性を育み、子どもの視点を取り入れた文化芸術振興を図る。 				
対象	古賀市在住の小中学生	日時 (予定)	2月20日～22日		
内容	予定月				
	6月上旬	第1回実行委員会			
		作品募集のチラシの作成			
	6月下旬	校長会にて趣旨説明			
		教頭会にて趣旨説明			
	7月上旬	募集要綱配布			
	9月1日(月)	作品募集開始			
	9月中旬	各学校へ進捗状況ヒアリング			
	11月28日(金)	作品申込締切り			
	12月	作品審査会開催			
	12月下旬～1月上旬	受賞作品当番作成依頼			
		賞状印鑑申請			
		副賞の図書券配布			
		入賞者への審査結果通知			
	1月中	作品展示準備			
	1月末	プログラム校正開始			
		第2回実行委員会			
	2月上旬～中旬	プログラム校正終了、印刷所へ回す			
	2月19日	作品搬入、プログラム完成			
	20日～22日	展示			
23日	搬出				
3月	第3回実行委員会				
展望	<p>厳選な審査によって選ばれ、ステージに上がり表彰されることによって、大きな自信になる。さらに、サンフレアで展示され多くの人に鑑賞されることにより、創作意欲の向上につながる。子どもの頃からこういった体験をすることで、今後の文化芸術に対する興味関心を深めることを目指す。さらに、子どもの頃から文化芸術に常にふれることによって、文化芸術が身近にある環境が当たり前と感じられる環境づくりを目指す。また、子どもを通してその家族、親族、友人などにも働きかけ、文化芸術の拡がりを期待する。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
270,000円			270,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	270,000	文化芸術振興事業委託事業(こども美術展) 270,000円	
合計			270,000		
備考					

平成27年度企画書(レッツトライ!プロジェクト)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	3文化芸術人材育成事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。 ・古賀市において活動する団体の交流を行い、お互いに認め合い、高めあえるよう、団体間のネットワークを広げる。 ・団体の自立を支援する。 				
対象	古賀市を拠点として活動する文化芸術活動団体	日時 (予定)	年間3回		
内容	予定月	開催事業	内容		
	8月	文化芸術団体育成ワークショップ	企画の「アイデア」と「やる気」を起こす！		
	10月		企画に必要な「人」「時間」「場所」を起こす！		
	12月		足りないものを掘り起こす！そして、レッツトライ！		
<p>古賀市の文化芸術活動団体の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な文化芸術団体が活動しているものの、団体同士のつながりが薄い。 ・資金面や団員不足等で文化芸術活動団体の自立運営が難しい。 ・古賀市の文化芸術振興として、25年度に完成した文化芸術振興計画を周知する。 <p>25年度より講演会形式の講座をやめ、各団体が自分たちの団体の課題を見つけ、解決策を探って行けるようなワークショップに変更し、参加団体に好評であった。26年度は、次のステップとして参加団体同士が協力し合い、一つの事業を自主運営する取り組みに挑戦した。まだ途中のため実績は上がっていないが、団体間の悩みや課題を共有することで、互いに同じような思いを抱えていることに気づき、またお互いにどうアプローチをしていいのかわからなかったということがわかった。本講座が橋渡し役となり、団体間のネットワークを強固なものとし、古賀市の文化芸術の基盤づくりに取り組む。</p>					
展望	<p>文化芸術活動は、はっきりとした成果が見えにくく、やっている本人たちも、活動の見通しを立てることができず、大変苦しい状況にある。また、お金がかかる等理由から団体を維持するために、行政の補助がないと活動できない状態になることもある。それらの意識を改革し、企画力をつけ、団体として質の向上をはたすためには、地道に支援を行っていく必要がある。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
90,000円+流用(13,000円)=103,000円			208,500円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
8報償費	1報償費	32コーディネーター謝礼	12,500	講師謝礼 2,500円×5回	
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	150,000	講師謝礼 30,000×5回	
11需用費	4印刷製本費	1印刷製本費	46,000	印刷製本費チラシ 46,000円	
合計			208,500		
備考					

平成27年度企画書(地域の魅力発見講座)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	3文化芸術人材育成事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での文化芸術活動の活性化をめざし、公民館や新たな活動場所を開拓する。 ・文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用する。 ・古賀市が誇る文化芸術に関する知識、技能、能力を後世に引き継ぐため、発信、伝承、還元する機会の提供と共に、子どもから大人まで幅広い世代の地域に文化芸術活動を推進する人材を掘り起こし、育成する。 				
対象	市民		日時 (予定)	年間3回	
内容	予定月	校区	対象	内容	
	9月	古賀西	ものづくりに興味がある人	海岸で拾った貝殻や、枝、木の葉をアレンジ！オリジナルコースターを作ろう。	
	講師名			トビオ 氏	
	10月	小野	カメラ持っている人	初心者でも大丈夫！カメラのプロが教える楽しい写真講座。	
	講師名			小河 修次 氏	
	11月	舞の里	絵が好きなお人	秋の紅葉をスケッチ！落ち葉拾いをして水彩絵の具ではがき絵を作ろう。	
	講師名			栄村 ひと恵 氏	
展望	<p>地域の文化芸術活動をしている団体及び個人を活用して、地元地域への文化芸術振興を行う。また、地域の公民館等を活用し、新たな活動場所の開拓を行う。</p> <p>体験型の講座にすることで、知識、技能、を持ち帰ってもらい、地域への文化芸術の還元や拡がりを期待する。</p> <p>また、活動者、鑑賞者ともに層が薄いという古賀市の課題解決のため、今まで中央で行っていた文化芸術振興を地域へに広げることで、新しい人材の掘り起こしを行う。</p>				
H26年度予算額				H27年度予算額	
117,000円				82,000円	
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	15,000	講師謝礼 2,500円×3回×2人	
14使用料及び賃借料	10会場借上料	1会場借上料	15,000	会場費 1,000円×3回×5時間	
		1会場借上料	6,000	空調機使用料 400円×3回×5時間	
11需用費	4印刷製本費	1印刷製本費	46,000	印刷製本費チラシ 46,000円	
合計			82,000		
備考					

平成27年度企画書(アート・バス)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	3文化芸術人材育成事業	小事業	
目的	小中学生を対象に、本物の文化芸術の鑑賞や学芸員等専門家、アーティストとの交流を通し、文化芸術の担い手の育成に寄与する。				
対象	古賀市内小中学校 児童・生徒	日時 (予定)	下記のとおり		
内容	予定月	開催事業	内容		
	古賀市内の小・中学生(参加希望者)をバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行く。				
	5月	古賀中	福岡市立美術館	企画展および常設展示を鑑賞	
	6月	古賀東中	福岡市立美術館		
	7月	古賀北中	福岡市立美術館		
	10月	花鶴小古賀西小古賀東小	県立美術館		
	11月	舞の里小千鳥小花見小	アジア美術館		
	12月	青柳小小野小	県立美術館		
展望	また、ボランティアも互いに共同出来るよう働きかけて行きたい。 中学生の参加が極端に少ないので、広報等を活用し、広く周知をしていく。				
H26年度予算額			H27年度予算額		
204,000円			141,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
8報償費	1報償費	21スタッフ謝礼	50,000	有料道路使用料 1,000円×5回×10人	
14使用料 及び 賃借料	1使用料	21美術館等入場料	84,500	美術館入館料 1,300円×5回×13人	
	5駐車場 有料道路使用料	1駐車場・ 有料道路使用料	6,500	有料道路使用料 650円×5回×2台	
合計			141,000		
備考					

平成27年度企画書(計画管理事務)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	4文化芸術振興計画 管理事務費	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。 ・古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。 				
対象	審議委員	日時 (予定)	年間4回(1回2時間程度)		
内容	予定月	開催事業	内容		
	4月下旬～5月	第1回文化芸術審議会	年間スケジュール		
	10月下旬 ～ 11月上旬	第2回文化芸術審議会	中間報告 来年度の予算について		
	3月上旬	第3回文化芸術審議会	26年度活動報告について		
	* 突発的な協議のための予備日(1日)を含め4回				
展望	25年度に文化芸術振興計画が完成し、その進捗管理を審議会が担っている。 年度初めに活動予定を、予算前に中間報告および年度末には活動報告を行い、意見をもらうことで 次年度に繋げていく。30年には、5年間の進捗状況の報告を行い、審議を受けることとなる。				
H26年度予算額			H27年度予算額		
395,600円			371,200円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
1報酬	2委員報酬	41文化芸術審議会委員 9人	270,000	文化芸術審議会委員 7,500円×4回×9人	
9旅費	1費用弁償		90,000	文化芸術審議会委員 2,500円×4回×9人	
12役務費	1通信運搬費	1通信運搬費	11,200	文化芸術審議会案内 140円×10人×8回	
合計			371,200		
備考					

平成27年度企画書(公共施設美術品展示)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	13美術振興事業費	中事業	1美術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎市民ホールに絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。 ・文化芸術資源の活用をし、魅力を広く伝えられるよう積極的に発信する。 				
対象	市民	日時 (予定)	年間通して1ヵ月半ごとに絵を交換		
内容	予定月	開催事業	内容		
	4月1日～5月中旬	作品展示①	第69回福岡県美術展覧会 デザイン部門入選作品 『郡工具図』		
	5月中旬～6月末	作品展示②	糟屋地区美術展 糟屋地区議長協議会賞 『与謝野晶子・歌』		
	7月～8月中旬	作品展示③	糟屋地区美術展 西日本新聞社賞 『プールサイド』		
	8月中旬～9月末	作品展示④	MOA美術館福岡児童作品展金賞 『虫とひまわり』		
	10月～11月中旬	作品展示⑤	糟屋地区美術展 糟屋地区市町長協議会賞 『綿津見神社(三苦)式年遷宮』		
	11月中旬～12月末	作品展示⑥	糟屋地区美術展 福岡県美術協会賞 『横たわる木』		
	1月～2月中旬	作品展示⑦	糟屋地区美術展 糟屋地区社会教育振興会賞 『天使の住む花園』		
	2月中旬～3月末	作品展示⑧	糟屋地区美術展 奨励賞 『日向岬の朝』		
	事業概要				
<p>糟屋美術展、MOA子ども美術展、古賀市子ども美術展等、近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を展示。市民や職員が頻繁に行きかう空間に展示することで、古賀市が誇る文化芸術作品の発表の場となると共に、市民がよりクオリティの高い作品を身近に鑑賞できる機会の提供にもなっている。1ヶ月半ごとに作品を入れ替え、合計8回の絵画の交換を行っている。</p>					
展望	鑑賞してもらい喜びや、鑑賞する楽しみを感じてもらい、作品出展や創作への意欲を高め、更なる文化芸術活動の促進につなげる。				
H26年度予算額			H27年度予算額		
100,000円			100,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
11需用費	1消耗品	1消耗品	100,000	キャプション用プレート費用	
合計			100,000		
備考					

平成27年度企画書(文化芸術交流事業事務)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	13美術振興事業費	中事業	1美術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。 ・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。 ・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。 				
対象	市民		日時 (予定)	下記のとおり	
内容	予定月	開場		内容	
	11月27日	サンレイクかすや		糟屋地区美術展	
	11月23日	カメラホール(福津市文化会館)		福岡 I ブロック 芸術文化のつどい	
	<p>【粕屋地区美術展】 粕屋郡の1市7町の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。平成26年度で42回目をむかえる。毎年古賀市から30点～40点の出品をしている。市民から広報を通して作品公募し、出品する。</p> <p>【福岡 I ブロック芸術のつどい】 粕屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。平成26年度で22回目をむかえる。毎年古賀市～3団体(10人～20人)が出演する。</p>				
展望	<p>近隣市町村の文化芸術についての情報の収集、そして意見交換の出来る貴重な機会であり、古賀市が誇れる宝を市外に発信する機会でもある。近隣からは古賀市からの出品作品のクオリティは高いとの評価を得ている。古賀市の文化度を測る基準にもなり、近隣との広域的なネットワークづくりにもなる。市民への知名度が低く、市民公募をするうえでさらなる浸透が必要である。ポスター・チラシ等での周知やHPを使った周知を積極的に行い、さらなる市民の文化芸術の意識の向上を行っていききたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
120,000円			120,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	120,000	美術振興事業委託事業(文化芸術交流事務) 700,000円	
合計			120,000		
備考					

平成27年度企画書(市民音楽祭)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1音楽振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市の文化芸術振興に寄与し、クオリティ・公益性の高い企画・運営を行う団体を支援する。 ・市民とプロが交流する機会を設け、文化芸術活動の活性化を図る。 				
対象	市民	日時 (予定)	7月27日(日)		
内容	予定月	内容			
	4月15日(火)	古賀市民へチケットの先行販売開始			
	5月8日(木)	一般チケット販売開始			
	6月20日(金)	プログラム編成作業スタート			
	7月4日(金)	プログラム編成作業終了			
	22日(火)	プログラム完成			
	26日(土)	リハーサル(市民ゲスト・メインゲスト)			
	27日(日)	第7回古賀市市民音楽祭 本番			
展望	<p>市民音楽祭はすでに市民に根付いている事業であり、プロの音楽家と市民が共同で出演する貴重な機会である。入場料を徴収することで、よりグレードの高い事業展開ができ、なおかつ文化協会だからこそ持ちえる文化芸術活動団体との根強いネットワークを通して広域的な周知を行っている。</p> <p>古賀市民は無料の文化芸術に触れる機会の提供に慣れすぎているとの意見もある中、昨年は入場料を徴収したにも関わらずチケットは満席完売した。グレードの高い企画及び連携の取れた運営で、市民の文化芸術に対する興味・関心を刺激し、今以上の文化芸術に対する意識の高い市民の開拓・掘り起こしに寄与することを期待する。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
1,500,000円			1,500,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	1文化芸術事業補助	1,500,000	音楽振興活動支援事業(市民音楽祭) 1,500,000円	
合計			1,500,000		
備考					

平成27年度企画書(童謡まつり)案

勘	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1音楽振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・出演する市民を公募することで、受け継がれてきた童謡の魅力幅広い世代に伝える。 ・子どもたちにも童謡を発表・鑑賞する機会を提供し、日本に根付く童謡を次世代へ引き継ぐ。 				
対象	市民	日時 (予定)	2月22日(日)		
内容	予定月	内容			
	10月	広報こがに出演者募集を掲載			
	31日(金)	出演者募集広告掲示開始			
	11月18日(火)	出演者申込開始			
	12月5日(金)	出演者申込終了			
	1月21日(水)～	古賀竟成館高等学校背景画作成			
	2月5日(木)	出演代表者会議(大会議室にて19:00開始予定)			
	15日(日)	コンクール個人レッスン			
	19日(木)	舞台看板・ひな壇・背景画設営			
	20日(金)	個別リハーサル			
	21日(土)	通しリハーサル(本番どおりに行う)			
	22日(日)	第25回古賀市童謡まつり本番			
展望	<p>童謡まつりでは、ステージでの発表だけでなく、優秀者には表彰が行われる。子どもたちにとっては、公の舞台で発表する貴重な機会であり、また、表彰されることで、自信が付き、今後の文化芸術活動への足がかりになる。</p> <p>子どもだけでなく、大人になればさらに童謡にふれる機会は少なくなる。福岡でも童謡まつりを行っている自治体はそう多くはないので、古賀の特色として、今後も続けていきたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
1,330,000円			1,330,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	1,330,000	音楽振興事業委託事業(童謡まつり) 1,330,000円	
合計			1,330,000		
備考					

平成27年度企画書(サロンコンサート)案

勤	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費	
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1音楽振興事業	小事業		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を身近に感じてもらい、興味関心を高める。 ・生の演奏を気軽に、定期的に発表・鑑賞ことができる機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。 					
対象	市民	日時 (予定)	月1回 13:30~15:00			
内容	予定月	開催事業	内容			
	5月17日(土)	薫風を感じて	お茶とコーヒー提供・サロンコンサート (研修棟・大会議室・ロビー)			
	6月28日(土)	梅雨空を吹き飛ばそう!				
	7月19日(土)	夏を楽しもう				
	9月20日(土)	静かな秋				
	10月18日(土)	灯火親しむ秋				
	11月15日(土)	陽だまり恋しコンサート				
	12月13日(土)	ジングルベルを聴きながら				
	1月24日(土)	新春を寿ぐ				
	2月28日(土)	梅の香りに誘われて				
	3月14日(土)	春の足音				
	内容					
	カフェで聞くような、気軽にリラックスしながら聴けるコンサートを目指す。 出演者についても広報等で公募し、音楽発表してもらう。					
展望	普段文化芸術を意識していない人でも気軽に参加できる空間をつくり、誰もが気軽に音楽にふれられる機会として定例的に行う。 大きな舞台での発表ではなく、身近で、発表しやすい機会は少ないので、公募枠を増やし、市民の誰でも気軽に聴いて、見て、発表できるコンサートにしていきたい。					
H26年度予算額			H27年度予算額			
250,000円			250,000円			
予算根拠						
節	細節	細々節	予算額	根拠		
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	250,000	音楽振興事業委託事業(サロンコンサート) 250,000円		
合計			250,000			
備考						